

太宰府中学校 2学年だより

No.3

H31.4.19

文責：石橋 眞子

分け合う集団



～来週から始まる体育祭練習。
急成長の2年生がどのような集団をつくるか楽しみです～

今週から、本格的に授業が始まりました。2年生としての2週目が過ぎましたが、この間の歓迎遠足で、新しい仲間と更に打ち解け合うことができましたか。

15日に学年集会を行い、2年の先生方からいろいろな話がありました。皆さんが1年生の頃から関わっていらっしゃる松尾先生が、皆さんの成長ぶりをとても喜んでおり、このようなことをほめていました。

- 日程表（日案）を見ながら、時間を意識して行動できるようになった。
- 積極的にクラスのために動いている人が増えた。
（教科書配付の際、被服室まで何度も往復して取りに行った人や、学級組織の係や体育祭リーダーに立候補した人がたくさんいたこと）
- 発育測定の手帳忘れが0で、体育館の測定も10分で終わったこと。
- 自ら感じの良い挨拶ができる人がとても多くなったこと。
- 欠席した人やケガをしている人を気遣い、プリント整理をしていること。

皆さんの成長ぶりは、校長先生も高く評価されていました。皆さんは、いろいろな人から注目され、期待されています。

また、野口先生からは、体育祭リーダーの紹介がありました。

今年も暑くなりそうですので、熱中症にならないよう、日頃から十分な水分補給と、体調管理にしっかり整えていきましょう。

さて、先日の歓迎遠足で、私は皆さんのある姿が印象的でした。

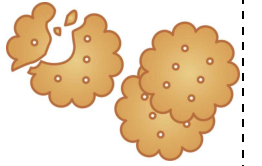
- 移動中、通りすがりの人に、大きな声で挨拶していたこと。
- さらに、大型バスの乗客にも手を降って挨拶していたこと。
特に今年は「令和元年」ということで、令和の語源となった太宰府市に今まで以上に多くの観光客が訪れています。
皆さんは「good impression（好印象）」を与えましたね。



最も印象に残ったことは、皆さんが楽しそうに「おやつを分けあって」いたことです。「分け合う」という行為は、これからの皆さんの集団づくりに大きく関わってきます。それはなぜでしょうか。

以前、勤めていた学校で、ある先生がこのようなことをおっしゃっていました。

これから、皆さんは、○年○組という学級集団・○年生という学年集団をつくっていきますが、そもそも「集団」とは何か、一つの例をあげましょう。



・「**集団**」は、1つのビスケットを「分け合う」。

そこには、真のリーダーがいて、仲間に均等にビスケットを分け合う。仲間のひとりに、具合が悪い者がいれば、少し多めにビスケットを与えることもする。

・それに対して、集団でないあつまりは「群れ」という。

・「**群れ**」は、1つのビスケットを「奪い合う」。

そこには、偽のリーダーがいて、ビスケットを独り占めする。仲間が困っていてもいっさい助けず、自分だけビスケットを食べてしまう。それは、優しい心をもった人間の集団ではない。

先述の松尾先生の話では、最後に「2年生としての集団の力を伸ばそう」とおっしゃいました。

学級組織、学級目標、学級のルール…と4月はたくさんを決めました。それは、新しい学級としてよりよいスタート＝「最初のボタンをきちんととめる」ためです。来月は体育会練習も行われ、いよいよ2年生としての集団の力を高める場が近づいています。

せっかくたてた目標やルールが「絵に描いたもち」で終わらせないためにも、学級や学年の仲間が「群れ」でなく「集団」に高まるように、遠足のおやつと同じく一枚のビスケットを分け合える温かい集団に育ててほしいと思います。

保護者の皆様へ

新学期から2週間ほどたち、授業も始まりましたが、お子様の様子はいかがですか。

さて、来週から体育祭練習がはじまります。年々日差しが強くなり、熱中症対策が懸念される時期でもあります。

日頃のお子様の体調管理に加えて、十分な水分補給の準備など、留意していただきたく存じます。どうぞよろしくお願いいたします。



映画監督・お笑いタレントで、才能豊かな文化人としても高く評価されている北野武さんが、ある本の中で「ふりこの理論」という話を書いていました。

左右に同じくらいふれる「ふりこ」を人の生き方に例えて、いくつかの話をあげていました。この考えは、私たちの生活にも同じ事が当てはまるといえます。すなわち「一生懸命努力したらその成果は同じくらい返ってくる。反対に、さぼれば同じようにツケとなって返ってくる」ということです。

今の1年生の状況は残念ながら周りから褒められる状況とはいえません。一生懸命頑張っている人もたくさんいる中で、頑張る者が馬鹿をみる雰囲気があります。

ふりこの理論で例えたら「自分がとった行動はすべて自分に返ってくる」ということです。これから先、本気で頑張らなければいけないときがたくさんやってきます。その時に、自分がこれまで頑張ってきたかそうでないかで、ふりこの振れ方は変わってきます。